

登録コード	A3593389	開講年度	2026				
授業科目	専攻演習				担当教員	野村 亘	
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				実験結果を解析したうえで、結果をわかりやすく伝えることができる。また、実験結果の解釈について、客観的かつ論理的な評価をし、問題点の解決に繋げることができる。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				実験結果を解析したうえで、結果をわかりやすく伝えることができる。また、実験結果の解釈について、客観的かつ論理的な評価をし、問題点の解決に繋げることができる。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				実験結果を解析したうえで、結果をわかりやすく伝えることができる。また、実験結果の解釈について、客観的かつ論理的な評価をし、問題点の解決に繋げることができる。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				実験結果を解析したうえで、結果をわかりやすく伝えることができる。また、実験結果の解釈について、客観的かつ論理的な評価をし、問題点の解決に繋げることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	主として酵母を対象とした分子細胞生物学に関する基礎・応用研究に触れて専門知識と最新技術を学ぶとともに、研究室セミナーへの参加を通してプレゼンテーションや質疑応答などの活動に触れる。						
(5)授業計画	1. 論文紹介 2. 酵母の分子細胞生物学分野を中心とした基礎・応用的研究について 3. 研究結果のまとめ方や扱い方に関する演習 ＊最後の授業回に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	研究テーマに関連する情報や知見について、自主的な学習に努める必要があります。						
(7)成績評価の基準	授業の達成目標を許容水準で行うことができる力を備えていれば、合格レベル（可）とします。						
(8)事前事後学習の内容	授業の達成目標を達成できるように、事前準備等に取り組んでください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度および授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準[評語(点数)]：秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（59以下）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	常時、受け付けます。						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	必要に応じて指示する。						
【参考書】	必要に応じて指示する。						